

子育て支援

高校生医療費・小中学生給食費無料化を

現在のところ考えていません

子どもは国の宝・町の宝、大事にしましょう



笠原 武 議員

子どもの貧困が大きな社会問題になっている。その対策の一環として

策の一環として対象年齢等の検討は行なっていない

「高校生の医療費」と小中学生の給食費の無料化」を実施したらどうか。



給食センターでの調理風景

自然を生かした観光事業

町の活性化、特に空き家対策と町の自然を生かした観光事業について、町民と力を合わせた取り組みは。

都市政策課長 空き家について町独自の調査はしていません。今後、移住

促進の受け皿、建物の管理等積極的に取り組むべき課題として認識しています。自然を生かした観光事業については、ハイキングコースの整備管理、和紙・酒などの産業面とあわせて、地域住民・商工会と力を合わせて取り組んでいます。今後も温泉・農産物・食等多方面にわたって努力します。

その他の質問

- ◎自衛官募集問題と小川町上空飛行の米軍専用機問題
- ◎地域住民生活等緊急支援のための交付金
- ◎デマンドバス（タクシー）

これからが正念場、気を引き締めてまいりましょう

まちづくり

「金がない」なら何をする

活力ある地域づくりを目指します



戸口 勝 議員

東松山斎場改築・埼玉中部資源循環組合ごみ処理場建設・小川町駅北側整備計画をはじめ、今後町で予想される巨額財政投資と町財政の見通しは。

政策推進課長 3つの事業の合算は39億4000万円程度で、その財政負担は平成31年～34年までの4年間で7割を超えると考えます。また、財政調整基金の残高は25年度末と比べ26年度末は24・8%の減となり、27年度当初予算では5億1397万4000円であった残高の4億6397万9000円の基金を取り崩し財政不足に充てました。今後さまざまな工夫を加え、経費の節減・効率的な事務執行に努めます。

「今後30年で、町の施設を効果的かつ効率的に40%縮減し、適切な維持管理を行ない、寿命を延ばし、利活用の促進や統合を進めて将来負担の軽減を図る」とのことだが、今後の計画の流れは。



東松山斎場

政策推進課長 3つの柱を優先的に取り組む課題として掲げました。

- ①小・中学校の再編
- ②旧上野台中学校跡地の活用
- ③駅周辺公共施設等再編

特に学校教育施設は町の公共施設の総延べ床面積の53・1%を占め、重要な課題となっています。平成29年3月までに、この3つの柱の方向性を決定することを目指します。

欲しかったなあ……



高瀬 勉 議員

地方創生事業

プレミアム付き商品券の効果は

消費喚起につながりました

販売時の対応と判断は適切だったのか。事前の準備等は

産業観光課長 数多くの町民の方々におこたえできるよう、敷地等の広さを備える町内5カ所の町施設を確保しました。また、確実な販売方法として直接販売を選択し、準備を進めました。

購入限度額や利用対象外の9項目は守られたのか。不正等の報告は。

産業観光課長 販売時に購入

者の住所・氏名・販売希望額を確認し、名簿を作成しました。翌日以降、2人1組の体制でチェックしたため、販売限度額は守られたと思っています。また、コンビニで「電子マネーにチャージしているのでは」との問い合わせがありました。対象のコンビニに照会したところ、入金していないとのこと、利用対象外の9項目で、利用対象外の9項目

目も守られていると考えます。

事業の振り返りを。

産業観光課長 発行時期が6月中旬であったことから、夏商戦や七夕まつりでの消費喚起に効果があったと考えています。今後は県内だけでなく、他県の実施状況も調査していく必要があると考えます。

目も守られていると考えます。



販売を待つ長蛇の列

現在、協定医療機関で中学3年生までは医療費の窓口払いを廃止しています。

平成27年6月に販売したプレミアム付き商品券は、好評につき完売しました。販売総額は、1億7,000万円（発行額2億2,100万円）でした。